

# くずまき 議会だより

7月定例会議 平成27年8月26日発行  
岩手県葛巻町議会

No.171



笑顔のつどい 18

26年度病院会計決算を認定

新病院の建設が始まる

2p

今ここが聞きたい 議員が町政を問う

4p

地域の要望を確認 ~常任委員会町内視察~

8p

住民の声にどう答えた ~ふるさと懇談会~

10p

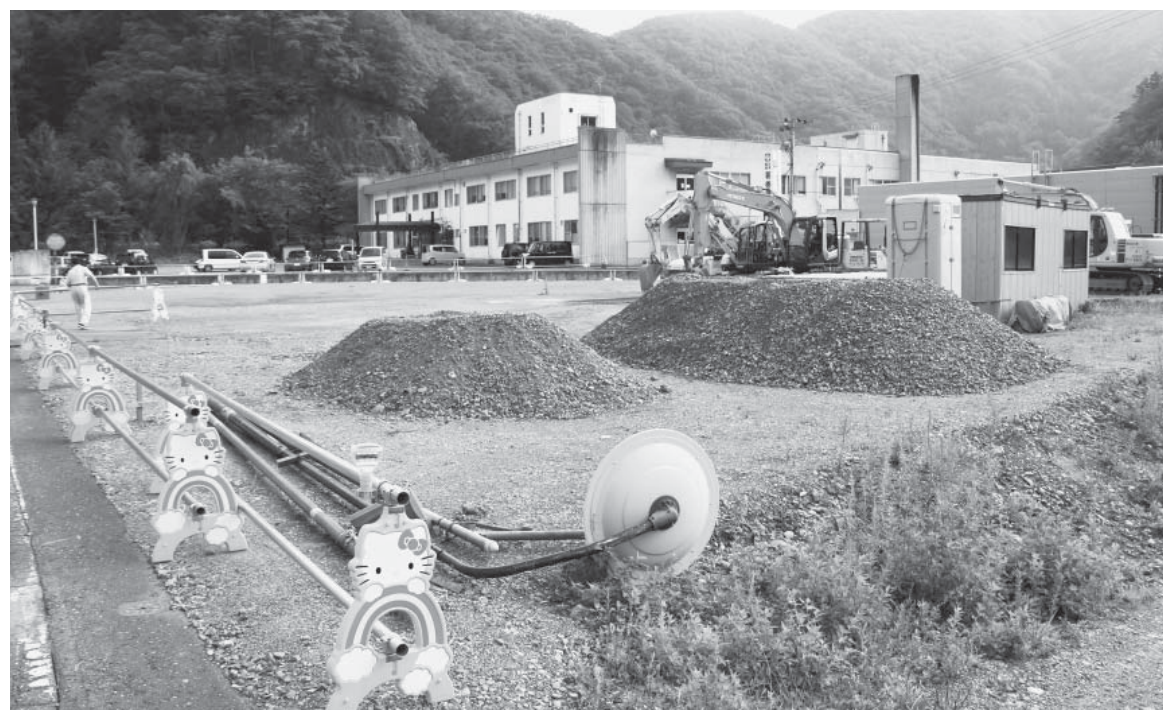
表紙

葛巻町60周年記念事業  
子ども議会  
(関連12P)



# 新葛巻病院 建設が始まる

26年度の患者数の状況は、年間入院患者数（延べ）が、1万4999人で前年度に比べて1065人、7.6%増加しました。外来患者数は、3万4052人で前年度に比べて72人、0.2%の増加です。患者数の状況は、下の表のとおりです。28年度末完成予定の、新葛巻病院の建設が本格的に始まりました。新病院の開設を見据え、さらなる経営努力が必要と考



新病院の建設工事が 進み始めた建設予定地

## 7月定例会議

7月定例会議は、7月3日から7日までの5日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、27年度補正予算や26年度葛巻病院事業会計の決算認定など9件、議員発議案の議会総合条例の改正など3件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。一般質問では1名の議員が登壇し、町の対応や考えをたどりました。

### 26年度患者数の状況

区分	26年度	25年度	増減		病床利用率 (%)
			人員	率 (%)	
入院	1万4999人	1万3934人	1065人	7.6	52.7
一般病床	9651人	8168人	1483人	18.2	44.1
介護病床	5348人	5766人	△418人	△7.3	81.4
外来	3万4052人	3万3980人	72人	0.2	-
計	4万9051人	4万7914人	1137人	2.4	-



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

26年度決算は、新会計基準の適用により、単年度赤字決算でした。なお、旧会計基準による試算では、当年度の純利益が1千4百万円余りとなる見込みでした。引き続き、財政の健全化を望みます。個人未収金が減少したことは、職員の努力が認められます。引き続き、効果的な回収を求めます。

### 監査委員の意見

### 26年度病院事業会計決算状況

区分	26年度	25年度	前年対比
事業収益(a)	9億211万円	8億2746万円	9.0%
事業費用(b)	13億2086万円	8億95万円	64.9%
純損益(c)=(a)-(b)	△4億1875万円	2651万円	△1680.0%
年度末累積欠損金	6億2747万円	2億872万円	200.6%

26年度決算は、事業収益9億211万円に対して、事業費用が13億2086万円となり、4億1875万円の純損失を計上し、単年度赤字決算です。

### 26年度病院会計決算認定

### 新会計基準適用で 累積欠損金が増加

これにより、累積欠損金が6億2747万円に増加しました。この要因は、地方公営企業会計制度の改正により、新会計基準を適用したことによるものです。

### 決算特別委員会の意見

決算特別委員会（柴田勇雄委員長、大平守副委員長）を設置し、7月6日に病院事業会計の決算審査を行いました。

### 診療延長など 昨年度実績は 葛巻病院

問 昨年度から取り組んだ、診療延長などの実績は。 答 診療延長が延べ366件、フットケア外来が延べ27件の利用がありました。

### 新たに進める 医療サービスは 葛巻病院

問 新たに取り組んでいる医療サービスの内容は。 答 本年度から、禁煙外来や睡眠時無呼吸症候群などの治療に、取り組んでいます。



# 中村地区に 定住促進住宅を整備



中村地区に整備された、集合住宅タイプの定住促進住宅

7月定例会議で、27年度補正予算、条例の一部改正や請願などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

●**町税条例の改正**  
28年から「マイナンバー制度」が始まるため、この制度の運用に関連する改正など。

世帯構成 入居資格	世帯構成		
	子供の扶養がない場合 (通常家賃)	入居者が1子以上を扶養する場合	入居者が2人以上を扶養する場合
入居時に40歳未満の者で構成する世帯	3万円	2万円	1万円

※入居者全員の年齢が30歳未満の場合は、上記の家賃がそれぞれ半額になります。

●**条例改正**  
定住促進住宅条例の改正  
中村地区に、家族向け2戸、単身向け4戸の定住促進住宅を整備。  
入居時に40歳未満の方で構成する世帯が対象で、8月1日から入居ができます。

●**請負契約**  
清掃センター大規模改修工事  
契約額 3億7476万円  
◇工期 27年12月28日

## 請負契約

●**岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願**  
【紹介議員】 辰柳敬一 議員  
【提出者】 岩手県保険医協会 会長 南部淑文(盛岡市)  
【内容】 患者がお金の心配なく受診ができ、早期発見・早期治療による重症化防止のため、負担上限額の支払で済む現物給付の導入を求める請願。  
【審査結果】 審査の結果提出された請願は、「採択」と決定し、県知事のほか関係機関に、意見書を提出しました。

●**人権擁護委員**  
藤岡徹さん(新町)を推薦(再任)、新たに荒谷光子さん(小田)を推薦することに同意しました。任期は、30年9月30日まで。

## 人事案件

●**財産取得**  
消防ポンプ自動車(第3分団・第4分団)  
契約額 4147万円(2台分)  
◇納期 28年2月28日  
◇契約相手 互光商事(株)(矢巾町)

◇契約相手(株)アクトリー(石川県白山市)  
●**江刈中学校校舎・屋内運動場耐震改修工事**  
契約額 6862万円  
◇工期 28年2月26日  
◇契約相手(株)丹野組(二戸市)

## ～今ここが聞きたい～

7月3日に、議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員が質問できる時間は、1時間以内です。※議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

## 問 空き家の利活用策は

## 答 空家等対策計画で活用促進



しばた いさお 議員  
柴田 勇雄

議員 町内の後継者不足や一人暮らし高齢者の増加が見込まれ、空き家問題の深刻化が心配されます。国では、空き家問題対策として「空家等対策特別措置法」を作りました。法整備内容と町の空き家利活用促進策を伺います。  
町長 空き家問題は適切な管理ができないため、安全性の低下や公衆衛生の悪化、景観を損なうなど、いろいろな問題を生じさせ、住民の生活環境に深刻な影響を与えます。特別措置法では、「空家等」と「特定空家等」に区分し、町長が特に「特定空家等」に指定した場合、空家等の除去、周辺の生活環境保全を図るための勧告や命令等の権限が与えられました。また、勧告した所有者には固定資産税の軽減措置が除外され、200㎡以下の小規模住宅用地で6分の1、

200㎡を超える一般住宅用地で3分の1の軽減がなくなります。町では、22年から町内の空き家、空き店舗などの有効活用を図るため、空き家バンク「おでやあんせ!くずまきへ」事業を創設し、ここ4年半で登録件数9件のうち、賃貸、売却が7件の実績です。空家等の利活用は、一人でも多くの移住・定住者の受け入れに重要な対策です。自治会や町民の皆さんと情報と連携強化を図り、空家等対策計画を作り新たな利活用促進策を進めます。



空き家が約40戸に増加した、町中心部の新町地区

●**問** **マイマイガ情報 町民への提供は**  
議員 マイマイガの生態や駆除方法、飛来防止に向けた町民への情報提供が必要と考えますが、その対応策を伺います。  
●**答** **詳しい駆除方法 広報などで周知**  
町長 当町では、平成19年から3年間大量発生しました。今年に入り再び当町でも建物の壁などに産み付けられた卵が確認され、幼虫が大量発生しました。マイマイガの生態は、約10年周期で大量発生を

繰り返すと言われていました。5月に卵からかえった幼虫が糸を吐きながら風に乗って移動し、5回の脱皮と6齢を経て7月には成虫・ガとなります。大量発生する仕組みは未だ解明されていなく、ウイルスなどの天敵微生物の作用で死滅し、2・3年で終息することが確認されています。町民への情報提供は、「広報くずまき」、「くずまきテレビ」で駆除方法を周知してきましたが、もっと分かりやすい方法でさらに充実します。マイマイガの飛来防止については、街路灯、防犯灯を飛来しにくいLED灯に交換しました。また、誘蛾灯の活用も検討します。駆除対策は、町民の協力のもと9月、10月に町内全域で卵塊一斉駆除日を設け実施します。



葛葉荘の建設場所決定

補正予算

一般会計に3億9626万円追加し、総額を61億9793万円としました。支出では、公共施設等整備基金に2億9千万円を積み立て、基金(貯金)総額は、49億1588万円になります。補正額と主な予算の使いみちは、左の表のとおりです。

27年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3億9626万円	61億9793万円

《主な予算の使いみち》

- 養護老人ホーム「葛葉荘」の建設用地取得費費など・・・5960万円（※内田子地区に整備。28年度末に完成予定。）
- 公共施設等整備基金の積み立て・・・2億9000万円
- 小屋瀬小、江刈中学校太陽光発電設備整備（増額）・・・880万円
- 中小企業振興資金利子補給・・・300万円
- 自治総合センターコミュニティ助成金・・・240万円  
・下冬部七ツ物保存会（太鼓、音響設備など）

議員の判断（議決結果）

○ 7月定例会議で、議員の判断で決定した議案（※今回は賛否が分かれた議案はありませんでした）

議案等番号	議員名 件名と主な内容	議決結果	議員名												
			山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	小合地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久			
議案33号	平成27年度葛巻町一般会計補正予算（第1号）・・・3億9626万円を追加して予算額61億9793万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34号	葛巻町定住促進住宅条例の一部を改正する条例・・・中村地区に新たに定住促進住宅を整備。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35号	葛巻町清掃センター大規模改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて・・・清掃センターの大規模改修工事の請負契約の締結。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36号	江刈中学校校舎及び屋内運動場耐震改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて・・・江刈中学校校舎などの耐震工事の請負契約の締結。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37号	財産の取得に関し議決を求めることについて・・・第3分団と第4分団の消防ポンプ自動車を更新。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて・・・藤岡徹さん（新町）を推薦（再任）することに決定。	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて・・・荒谷光子さん（小田）を推薦（新任）することに決定。	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認1号	葛巻町町税条例等の一部を改正する条例制定の専決処分に関し承認を求めることについて・・・マイナンバー制度の導入などによる条例改正。	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1号	平成26年度葛巻町国民健康保険病院事業会計決算の認定について・・・26年度葛巻病院事業会計決算の認定。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願・・・県が行っている医療費助成制度の給付方法を、全て現物給付を導入するように求める意見書を、県や国へ提出を求める請願。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委3号	葛巻町議会総合条例の一部を改正する条例・・・条例中の文言整理や、議員の欠席届の規定の改正など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委4号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める意見書の提出について・・・請願第3号の採択を踏まえて、その趣旨に沿った意見書を県に提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委5号	地方自治体の医療費助成制度における現物給付導入に係る国庫負担金削減の撤廃を求める意見書の提出について・・・請願第3号の採択を踏まえて、その趣旨に沿った意見書を国などに提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は原案に賛成。  
※ 議長は採決に加わりません。

～岩手地区議員大会～

地域の課題 早期解決へ

県立高校の存続など  
要望7項目を承認

岩手地区議会議長会（中崎和久会長）主催による、第62回岩手地区議会議員大会が7月2日、栗石町で開催されました。地区内の議会議員、来賓として地区内の市町長など約120人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、栗石町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するために、毎年開催しています。

大会では、道路整備など7項目の要望事項を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、鈴木満議員が「県立高等学校の存続」について、地域の実態を考慮した学級定員にするなど、均衡ある高等教育を確保でき

る高校再編になるよう要望しました。満場一致で承認された要望7項目は、地区議会議長会が後日、県選出国議員や県の関係機関に対して要望活動を行います。要望の内容は下の表のとおりです。



提案説明する鈴木議員

岩手地区議会議長会 要望内容（要約）

- ① 広域的な観点からの道路整備の早期実現
- ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
- ③ 県立高校の存続
- ④ 魅力ある農業・農村を復活させる農業振興対策の推進
- ⑤ 林業担い手確保対策、林業施策の充実強化
- ⑥ 農業農村整備にかかる財源確保
- ⑦ 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）の見直し

～研修会～

目をしっかりみて  
話す大切さを

大会終了後、IBCアウンズス学院学院長の河辺邦博氏を講師に、「目で話す」と題して講演が行われました。

講演では、人の話を聴くこと、聴く力を身につけることが現在とても重要なため、目をしっかりみて話すことの大切さを力説していました。また、コミュニケーション能力の向上によって人間が進化した説明もあり、とても興味深い内容でした。話し方の奥深さや心を込めた会話の仕方など、議員活動において大変参考となる内容でした。



巧みな話術で講演を行う河辺氏





- 1 「森のこだま館」の隣接地に建設した、森林体験や森林学習の場として利用できる施設
- 2 役場前に設置された電気自動車の急速充電器
- 3 人工芝に整備された総合運動公園グラウンド



# 地域の声を聴き 現地状況を確認

担当者から説明を受け、寺畑橋の改良状況を確認する議員

## 地域の要望箇所を調査

### 「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月3日と4日、26年度に完了した事業と27年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（志田悟所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県が行う道路整備事業などについて意見を交わしました。

茶屋場自治会から要望があった、地区内の用水路の未整備箇所を確認したところ「既に改修が済んでいる用水路と未整備箇所を一体的に整備することが望ましい。」との意見が出ました。

### 工事実績と進行の状況

今回の調査では、町道茶屋場田子線や総合運動公園多目的グラウンドなどの大型工事、ふるさと懇談会（議会報告会）で地域から要望があった道路改良箇所などの状況を中心に調査しました。

### 1

日目は、町中心部と江刈方面を調査。遠矢場地区内の橋の幅が狭く、農作業機械の運行に支障があるため、改良を要望する箇所の状況を確認しました。議員からは「橋の欄干を撤去する方法により、橋の拡幅が期待される。地域と協議してはどうか」などの意見がありました。



茶屋場地区の用水路の状況を確認する議員

### 2

日目は、田部、小屋瀬方面を調査。25年度に発生した災害の復旧工事の完成状況などを確認しました。上外川自治会から要望があった、冬期間に上外川トンネル内に水が溜まって凍結する箇所を確認。「改修には多額の経費を要するため、冬期間にトンネル内の水を定期的に破碎する方法などで、車両通行の安全性を確保することが当面の最良策と考える。」などの意見が出されました。

で計画されている、主要事業内容は左の表のとおりです。そのほか、町が要望を行っている城内小路地区の急カーブ箇所の解消に向けて、検討を始める内容の説明がありました。今後も、県と町が情報を共有しながら、連携して進めて行くことを確認しました。

### 《調査を終えて》

調査の結果、概ね順調に町の事業が進捗している状況を確認しました。

なお、事業の執行に当たっては計画どおりに進め、最大限の事業効果を出せるように進行管理を徹底することを、町に伝えました。

### 県工事の内容 本年度計画は

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業内容を説明しました。本町

### 《27年度県事業の主な内容》

27年5月末現在の計画

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	四日市地区の道路改良工事（L=320m）	25～27年度
	城内小路地区の急カーブ解消の検討	27年度
	茶屋場田子線2期工区、大橋工区の設計委託支援	27年度
砂防事業	又ナヤ沢砂防事業（ダム1基）	24～28年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	21～28年度
	馬淵の沢砂防事業（ダム1基）	22～27年度



プラトールで開催された県との情報交換会



# 住民の声に

# 町はどう答えた!



冬部・市内・名前端自治会との懇談風景（冬部生活改善センター）

輝くふるさと常任委員会は、町民に開かれた議会と町民参加を進めることを目指し、26年11月から27年2月まで、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しました。自治会や町内の団体と14会場で開催し、延べ303人の皆さんと意見を交わしました。

この中で出された町政に対する意見や要望などを町当局へ伝えたところ、その回答がありましたので、主な内容をお知らせします。

**要望に対する町からの回答**

**自治会活動費増額の考えは** **総務 企画**

**問** 自治会活動の、河川の草刈作業などに対する交付金を検討してほしいです。

**答** 25年度から、生活弱者世帯数や道路延長などを加味した「環境保全活動加算」（5万6千円、9万8千円）を増額交付しています。今後も時代の変化を的確に捉えながら、交付金額の算定根拠を検討します。

**廃棄公用車の買取り導入を** **総務 企画**

**問** 公用車を廃車する場合に、入札方式で町内業者が買取り取りできる方法を検討してほしいです。

**答** 実施に向けて検討します。

**100円バス増便の考えは** **総務 企画**

**問** 100円バスはとても良い取り組みですが、土日、休日にも運行してほしいです。

**答** バス事業者側の運転手の確保が厳しいことや現在の利用状況などから、土日の運行は難しい状況です。今後もバス事業者に働きかけを行っていきます。

**子育て支援の充実強化を** **健康 福祉**

**問** 子育てに不安を感じているお母さん方の、支援を充実してほしいです。

**答** 今年度、子育てに関する情報をまとめた「子育て支援ハンドブック」を作成し、対象世帯へ配布する予定です。子育てにおけるニーズなどを踏まえながら対応の強化を図ります。

**国道への融雪剤散布量の調整を** **建設 水道**

**問** 車の傷みが激しいので、冬期間に国道に散布する融雪剤の量を、もう少し減らしてほしいです。

**答** 散布が必要な場所と必要としない場所など、状況に応じて対応するよう県に要望します。

**新葛巻病院の医療機器充実を** **葛巻 病院**

**問** 新葛巻病院の完成時期はいつ頃ですか。ある程度の病気を治療できるように、医療機器を充実してほしいです。

**答** 28年度中の完成を目指しています。充実した医療機器の整備に向けて、病院スタッフと協議しながら進めます。

**除染対策事業今後の見込み** **農林 環境**

**問** 除染対策の補助事業は27年度までの予定ですが、計画どおり事業が打ち切りになりますか。

**答** 除染対策補助事業の「いわて型牧草地再生対策事業」は、28年度まで実施する予定です。その後の事業を継続するように、国・県に要望していきます。

**ニホンジカ増加早急な対策を** **農林 環境**

**問** ニホンジカが増加しているのに、被害が大きくなる前に早めに対応してほしいです。

**答** 昨年度は、6月から3月まで猟友会に捕獲を依頼し、18頭を捕獲しました。今年度からは、通年で捕獲を行い、被害を最小限にとどめる対策を強化しています。

**屋内運動場建設計画は** **教育 委員会**

**問** 屋外で活動する葛巻高校のクラブが、冬場でも十分に活動できる室内練習場があれば良いと思います。

**答** 屋内練習場の建設計画は現在ありませんが、町の生涯スポーツを推進するスポーツ推進協議会や町民の要望などを調査しながら検討します。

■ 平成26年度「ふるさと懇談会」開催一覧

開催団体名	参加人数	開催団体名	参加人数
葛巻町女性団体連絡会	71	江刈自治振興会	9
葛巻高等学校（生徒会）	13	星野自治会	37
車門自治会	10	新いわて農業協同組合葛巻支所	35
遠矢場自治会	6	茶屋場自治会	15
小田部落会	22	冬部・市内・名前端自治会	29
上外川自治会	12	葛巻町商工会	20
浦子内町内会	15	橋場自治会	9

# インタビュー



岩手警察署 葛巻駐在所長  
 たかはし たけし  
**高橋 剛** さん (57歳)



## 事件・事故のない町へ

### Q. 自己PRをどうぞ

4月から、岩手警察署葛巻駐在所の所長として、お世話になっています。釜石市の出身です。3月まで花巻警察署桜台交番所長を勤め、葛巻町には妻と一緒に入社しました。3人の子供は、社会人です。趣味は魚釣りです。馬淵川に鮎が放流されているので、ぜひ釣ってみたいですね。

### Q. 葛巻町の印象は

皆さんとても親切で、穏やかな方が多い町だと感じています。葛巻高原牧場など美しい景観や自然が豊富で、すばらしい町ですね。

### Q. 葛巻駐在所での役割は

4月以降に、2件の交通事故が交通事故に遭わないように、地域の安全安心の確保に努めています。早朝の袖山高原から見下ろした山々の景色がすばらしく、とても感動しました。普段からお付き合いしている、町の交通指導員の皆さんの活動がとても活発だと感じます。

### Q. 皆さんにメッセージを

葛巻町の安全安心のために、一生懸命がんばりますので、皆さんのご協力をお願いします。町民の皆さんの相談にも対応しますので、気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

## 表紙 (葛巻町60周年記念事業「子ども議会」)



葛巻町60周年記念事業「子ども議会」を8月10日に開催。町内5小学校の6年生30人が出席し、町が取り組んでいる観光や福祉、環境の施策に対する質問や要望が出されました。

子ども議会の詳しい内容は、次回発行予定の議会だよりNo.172号に掲載いたします。

【表紙:子ども議会参加者の集合写真】

## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	40,000円	(葛巻小・中学校教職員交流会ほか)
5月	47,500円	(町観光協会通常総会ほか)
6月	47,000円	(町交通安全協会総会ほか)

次の定例会議は**9月4日(金)**です。

広報常任委員

高宮 一明

## 編集後記

7月に葛巻町60周年記念式典が行われました。人によっては「還暦」の節目を契機に、これまで以上に皆さんの声を町政に反映させるよう取り組みます。

また、議会では60周年記念事業として「子ども議会」を開催しました。多くの関係者が見守る議場で、堂々と一般質問をする子ども議員の姿を見て、私たち議員もなお一層議会の活性化に取り組む決意を新たにしました。